

いちょなみき

No. 82

- 講義はどう変わった？
60分授業・4学期制導入に向けた講義の工夫
- 岡山大学から世界にトビタテ！海外留学のススメ
- 岡山大学の学修環境
- 正課はもちろん、正課外活動もサポート！
正課外活動支援からキャリア支援を！！
- News & Topics
大学の動き／研究・臨床成果
- スーパーグローバルホームカミングデイ2016

最新！岡山大学の教育。 — 学びサポート総まとめ



最新! 学びサポート総まとめ 岡山大学の教育。



OKAYAMA
UNIVERSITY

目次

P/CK UP

60分授業・4学期制がスタート

学部の授業を90分×15コマ(2単位)から60分×2×15コマ(2単位)とすることで、集中力を高め学修時間を増やしました。

また、授業期間を約2カ月に区切る「4学期制」を導入。授業の集中的な履修と夏季・春季の長期休業を組み合わせて、留学やインターンシップ、ボランティア活動などに、より挑戦しやすくなりました。

P/CK UP

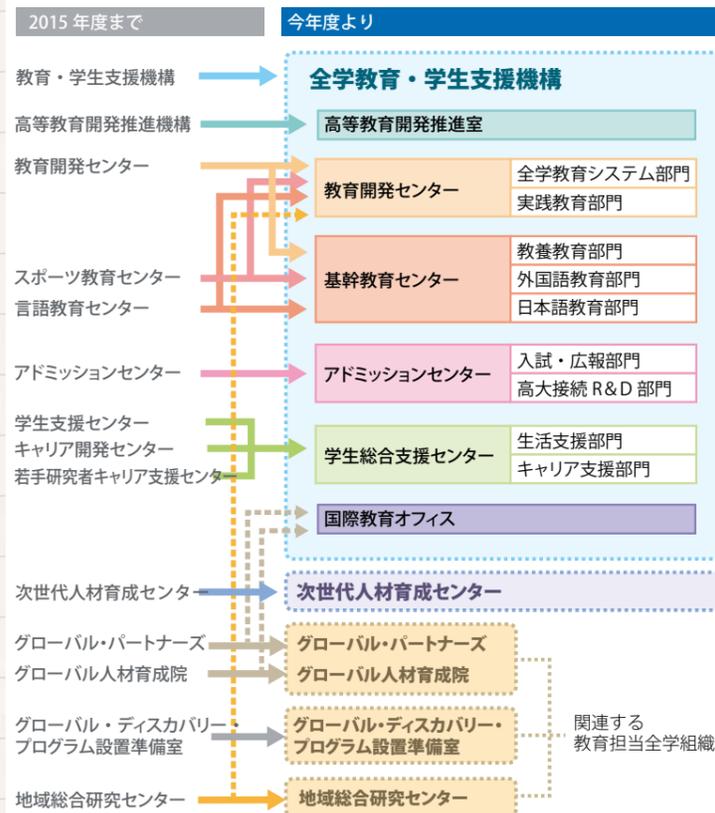
全学教育・学生支援機構、始動

教育関係の組織再編により、学生の支援体制が大きく変化しました。学生支援体制はこれまで、教育・学生支援機構のもとで各センターが独立していましたが、教育組織を改編し、各センターを一元化する組織として「全学教育・学生支援機構」を設置。機構が個々の動きをまとめ、各センターなど関係組織を集めて議論します。

これにより、全学の教育と学生支援に関する検討の場ができました。横のつながりを強化し、情報を共有し合うことで、全学的に連携した活動を行います。

来年度にむけて

同機構では60分授業・4学期制について、さらなる改良を見据えてすでに協議を重ねています。来年度以降、岡山大学の教育体制はさらにバージョンアップしていきます。



岡山大学では今年度から、60分授業・4学期制を導入しました。60分授業を全学部で一斉に実施するのは、国公立の総合大学として全国初の取り組みです。岡山大学の「教育」にフォーカスを当てた今号では、工夫を凝らした講義に挑む教員をはじめ、留学支援、大学生活の支援、正課外活動支援など、学びのサポートに関する岡山大学の今を紹介します。

P/CK UP

三者協働の教育について議論 桃太郎フォーラム開催

9月1日、岡山大学津島キャンパスで、大学教職員や学生等を対象にした研修会「第19回桃太郎フォーラム」を開催しました。「『共育力』を高める～教員・学生・職員による三者協働型の教育に向けて～」をテーマに実施。他大学の教職員を含め、教職員や学生ら約300人が参加しました。

午前の部では、教育改革を先導する先進的な授業科目や優れた教育を行っている授業科目を選考し、担当教員を表彰する「岡山大学ティーチング・アワード表彰」の表彰式を初めて実施しました。関西大学教育推進部の三浦真琴教授による講演もあり、同大における教員・学生・職員の三者協働によるアクティブ・ラーニングの展開について話しました。

午後の部では、4つの分科会と3つのセミナーを開催。学生の力を活用する教育の実際について、本学が今年度から導入した60分授業・4学期制に対応した授業改善事例、アクティブ・ラーニングを支える学習環境デザイン、ルーブリック評価の導入を議論しました。また、今回初めて、英文シラバスの書き方、教育動向を踏まえた日本の高等教育政策、学生・教職員のメンタルヘルスなど、幅広く大学教育を学び、考えるテーマ設定をしたセミナーを同時開催しました。いずれの分科会・セミナーでも多くの参加者による白熱した議論が繰り広げられました。



▲ティーチング・アワード受賞者の講演



▲グループワークを行うセミナー参加者

01 最新! 岡山大学の教育。
学びサポート総まとめ

03 講義はどう変わった?
60分授業・4学期制導入に向けた講義の工夫
泉 実
大学院環境生命科学研究所 准教授
出村 和彦
大学院社会文化科学研究科 教授

05 岡山大学から世界にトビタテ!
海外留学のススメ
主な留学プログラム、奨学金制度
留学体験談
トビタテ! 留学 JAPAN

09 岡山大学の学修環境
附属図書館&情報統括センター紹介

11 正課はもちろん、正課外活動もサポート!
正課外活動支援から
キャリア支援を!!
岡山大学校友会文化会・体育会総務委員会
学生企画チーム「岡プロ!」

13 News & Topics
大学の動き/研究・臨床成果

15 スーパーグローバル
ホームカミングデイ 2016

文学部の新カリキュラム

変わったところ

- ① 早期に学びたい学問に出会い、分野横断も可能。
- ② 卒業要件を単純化し、学生ごとに目標に沿った学習が可能。留学や資格取得がしやすくなる。
- ③ 学生の主体性を重視し、アカデミックアドバイザーが学修をサポート。

変わらないところ

- 人文学のほとんどをカバーする、きわめて広い研究領域。
- 社会に出てからも効果が実感できる、高度な専門教育。

ルーブリックとは

学修到達度を示す基準として、縦軸に観点、横軸にそれらを判断する尺度からなる配点表。あらかじめ評価基準を設け、正当な成績評価ができる仕組みだ。利点として、

- ① 始めと終わりで評価にぶれがない。
- ② 学生に対して厳格な評価ができる。
- ③ 迅速なフィードバックができる。

思考・判断、関心・意欲、態度、技能・表現といったパフォーマンスにかかる評価に有効とされている。

どんな科目に有効?

- レポートで評価するもの
- 学生の活動、実験など観察評価を扱うもの
- プレゼンテーション、グループワークなどの自己評価・相互評価を扱うもの
- 複数の教員がそれぞれ担当する同一内容の講義
- 複数の教員が一つの科目をオムニバス形式で担当する講義

※ 2016年9月1日に岡山大学で開催された「第19回桃太郎フォーラム」の第4分科会の内容を参考。

講義はどう変わった? 60分授業・4学期制導入に向けた 講義の工夫

今年度、60分授業・4学期制を導入した岡山大学。教員が講義内容を見直したり工夫したりと準備を進め、カリキュラムが大きく変わった。特徴ある取り組みを行っている教員に工夫点などを聞いた。

講義の中に演習を組み込む

60分授業になり実質の講義時間が1.3倍に増えた。それを生かし、泉実准教授は担当する専門科目(科目名…有機化学Ⅲ)で、2限連続の講義(60分×2)を使って理解力を高める「ある仕組み」を導入した。

①前半60分は教員が講義形式で学生に説明②後半60分は最初に、その日に習った単元の演習(小テスト)を実施③学生は講義で扱ったばかりの内容に関する問題を解き、学生同士で採点して理解度をチェック④その後、教員が問題を解説する⑤再度、小テストを実施して理解度を再チェックという学びのサイクルだ。講義の中に演習を組み込むことによって学生はつまづいた箇所を教員の解説を受けながらその場で復習し、そして繰り返し解く。泉准教授は「半強制的に反復学習することで学生も教員もその都度、理解度を把握することができ」と言う。

基礎的科目の必要性

なぜこのような仕組みを取り入れたのか。「専門科目は最低限必要な科目であって不要なものはない。その中でも基礎的な科目の『有機化学』も同じで、その必要性が学生にしっかりと伝わっていないかった」と泉准教授。分らないままにしてほし

半強制的な反復学習による基礎的科目の徹底教育

くないが、これまでの講義では学生がどの程度理解しているのか把握しづらく、期末試験で理解度ををはかるものの、試験前だけに勉強した学生は時間が経てば忘れてしまふ。試験の結果が振るわなければまずまず嫌になり、自分には関係のない科目だと勝手に判断して興味を失ってしまう。

講義内容の定着のためには反復や演習も極めて重要。にもかかわらず、これらは学生の自主性に任せられ、すべての学生が取り組んでいるわけではない。泉准教授は「このような状況下で宿題をたくさん課したところで理解度は高まらない。こうした一連の負のスパイラルは学生にとっても教員にとっても望ましくない」と思いを込める。

学びのサイクルでモチベーションアップ

演習後やその後の答案をすべて学生に返却して、学生には小テストの度に理解度を意識させた。導入した学びのサイクルは学生

カリキュラム改革にむけた準備

文学部では今年度から、これまでの5つの専修コースに代わる8つの教育分野を新たに開設。新カリキュラムの導入にむけて、出村和彦教授が所属する哲学・倫理学分野ではさまざまな準備を行ってきた。

哲学・倫理学分野では4年間の学びを大枠から感じてもらうと、分野全体を俯瞰できる『カリキュラムマップと分野の紹介』哲学倫理学のセカイを独自に作成。1年次オリエンテーションで入学者全員に配布した。人文学に関する入門演習、概説、講義、実践演習、課題演習などをどの学年で学べるかという学年配置や、留学期間の位置づけを示し、4年間の全体像を一覧で見ながら分野の科目を選択できるようにした。

また、今年度第3、4学期に開講する1年生向けの講義「人文学入門演習(哲学倫理学)」のために、独自の教科書『Philosophical Reading and Writing... 哲学・倫理学・日本思想史の道しるべ』を制作。同分野のさまざまなジャンルのテキストに早期に触れられる内容で、学生には受講期間中に無料で貸与される。

統一した成績評価基準づくりへ

出村教授らが次に目を向けたのは、成績評価の基準づくりだ。とりわけ1年生向けの入門演習では複数の教員が講義を行うため、「それぞれの教員の評価基準がまちまちでは学生が混乱をきたしてしまう。観点ごとに達成すべき目標を示す統一した基準が重要」と出村教授。教員同士、教員と学生が評価基準を共有できるように、大崎理乃助教(全学教育・学生支援機構高等教育開発推進室)からの教育工学面のアドバイスを得ながら同分野の教員4人全員でブレインストーミングとディスカッションを実施し、基準づくりに力を注いだ。

入門演習の成績評価基準を作る討論を重ねていくうちに新たに見えてくるものもあった。出村教授は「評価基準の統一は

から好評で、「もっと知りたい、できるようになりたいという気持ちになった」「これまで全く問題演習をしていなかったのが、それで理解が定着していなかったところからなる」といった声も。苦学意識がな

れまもさらに改良を重ねたい」と基礎的科目の徹底教育に余念がない泉准教授。学生、教員の双方にとってより良い講義の在り方を探り続ける。



大学院社会文化科学研究科 (文)
出村 和彦 教授
1956年生まれ。専門は哲学・倫理学。東京大学文学部卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。岡山大学文学部講師、同学部助教、大学院社会文化科学研究科准教授、オーストラリアカトリック大学客員研究教授を経て現職。同研究科副研究科長も務める。

大学院環境生命科学研究科 (農)
泉 実准 教授
1974年生まれ。専門は天然物有機化学・糖鎖工学。大阪府立大学農学部卒業。同大学院農学研究科博士前期課程、大阪大学大学院理学研究科博士後期課程修了。産業技術総合研究所特別研究員、日本学術振興会特別研究員、岡山大学農学部助手、大学院自然科学研究科助教、同研究科准教授などを経て現職。

文学部のカリキュラム改革
哲学・倫理学分野でのルーブリック構築の試み

入門演習：専門科目への導入教育部分

岡山大学から世界にトビタテ! 海外留学のススメ

岡山大学は文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業の対象機関に選ばれており、世界トップステージで活躍できる人材の育成に取り組んでいます。本特集では、岡山大学の留学プログラムや奨学金制度、学生の留学体験を紹介します。

留学体験談

キャンパス・アジア長期派遣

中国/吉林大学 (2015.3 ~ 2016.1)



Uetake Yoshinori
工学部3年 上竹 嘉紀

留学生を支援するボランティアサークル「WAWA」で留学生と交流を深めるうち、「実際に海外を見てみたい」と留学に興味を持ちました。また、キャンパス・アジアプログラムが目指す人材像に共感。金銭的なサポートも決め手となり、中国の吉林大学に留学しました。

留学中は中国語はもちろん、宗教や経済、哲学などについても学びました。特に印象に残っているのが宿舎での生活です。前半はジョージア(グルジア)の学生と相部屋だったのですが、留学当初で勉強も忙しく、気づけば打ち解けることができないうちに別れを迎えることに。「これではダメだ。次のルームメイトとはもっと仲良くなりたい」と考え、後半に相部屋となったボツワナ共和国の学生には自ら積極的に話しかけ、会話を楽しみました。国の文化や食事の違いなど自分では知らなかった日本に対するイメージなどに触れることができ、自分の視野を大きく広げることができたと感じています。

現在は理系の専門分野の勉強に励んでいます。大学院進学や研究での留学にも挑戦したいと思うようになってきました。理系の学生は欧米への留学が多いようですが、さまざまな学生と交流できるアジアへの留学もオススメです。

岡山大学短期留学プログラム (EPOK)

英国/シェフィールド大学 (2015.9 ~ 2016.6)



Kanenobu Haruri
文学部4年 兼信 遥里

ヨーロッパ史を英語で学ぶため、イギリスのシェフィールド大学にEPOKを利用して留学しました。英語圏の大学への留学はある程度の英語力が求められ、その中で言語や歴史を学ぶにはさらに高いレベルを要求されます。留学先での履修相談会では、歴史の授業を受けるのに必要な英語スコアが足りていないことが判明。しかし、担当の教授と直接話して熱意を伝え、なんとか履修することができました。授業についていくためにほぼ毎日、図書館に通い、予習・復習を欠かしませんでした。留学の目的だったヨーロッパ史を本場で学ぶことができたことに、達成感を感じています。また、留学先で出会った友人とは政治や社会などの時事問題や解決策を話し合う機会も持てました。彼らが自分なりの視点で物事を捉え、自分なりの意見を持って発言している姿に感銘を受けました。社会により目を向けて、世界の困難に対して自分なりの意見を持つようになりたいと思うようになりました。

留学先での生活や勉強、交流は大きな刺激になります。より充実した日々を送るためには目的と覚悟を持って留学することが大切。これから留学を目指す方は留学先で「何がしたいか」を明確にし、有意義な留学生生活をぜひ体験してみてください。

語学研修 (アデレード大学語学研修プログラム)

オーストラリア/アデレード大学 (2016.2 ~ 2016.3)



Simoyama Syunya
医学部2年 下山 舜也

これまでの英語の勉強は「読む」「書く」「聞く」ことが中心で、大学に入学してからも「話す」機会はありませんでした。しかし、数週間後、ホストファミリーから「来たときには静かだったけど、今は積極的に話している」と言われ、自分でも気づかぬうちに変わることができたのかと、「留学の力」に驚きました。英語を学びながらもさまざまな文化や人の温もりにも触れられ、充実した時間を過ごすことができました。

最初のうちは自分の英語が本当に通じるのかという不安もあり、現地の学生や先生たち、ホームステイ先でもうまくコミュニケーションを取ることができませんでした。しかし、数週間後、ホストファミリーから「来たときには静かだったけど、今は積極的に話している」と言われ、自分でも気づかぬうちに変わることができたのかと、「留学の力」に驚きました。英語を学びながらもさまざまな文化や人の温もりにも触れられ、充実した時間を過ごすことができました。

短期の留学期間だけでは身につけた英語力も鈍ってしまいがちです。留学後には大学の「E.S.S.(英語研究部)サークル」に加入し、英語でのスピーチやディスカッションなどで英語力を磨いています。資格取得が必須の学部ではカリキュラムの関係で長期留学は難しいかもしれませんが、短期の語学研修でも視野が大きく広がるので、興味のある方は是非、挑戦してみてください。

岡山大学の主な留学プログラム

留学者数 **408** 人 (平成27年度)

交換留学	対 象	実施機関	概要
■岡山大学短期留学プログラム (EPOK: Exchange Program Okayama)	全学部・大学院生	グローバル・パートナーズ	13カ国41大学の海外学生交流協定校との交換留学制度。春学期留学・秋学期留学があり、年2回募集。留学期間は半年~1年間。
■キャンパス・アジア長期派遣	全学部・大学院生	グローバル・パートナーズ	岡山大学と中国・吉林大学、韓国・成均館大学の3大学(キャンパス・アジア)による交換留学プログラム。留学期間は半年または1年間。
■各学部・研究科独自の交換留学プログラム	各学部・研究科	各学部・研究科	各学部・研究科と部局間協定校との交換留学プログラム。
語学研修・海外演習等	対 象	実施機関	概要
■語学研修・サマー/スプリングスクール	全学部・大学院生	グローバル・パートナーズ	夏季休業や春季休業を利用し、語学力向上と異文化体験を行う。海外の大学に付属する語学学校等で集中的に英語を学ぶプログラムの他、環境・農業系の実習などの実践型プログラムも提供。
■異文化体験プログラム	全学部・大学院生	グローバル・パートナーズ	海外で生活するためのスキルを身につけることを目的として、シンガポールで実施される海外初心者向け超短期プログラム。
■キャンパス・アジア短期派遣 ■日中韓留学ワークショップ ■語学・文化研修	全学部・大学院生	グローバル・パートナーズ	短期で中国、韓国を訪問し、現地で歴史、経済、社会を学ぶとともに、協定校の学生との交流を行う。また、短期中国語、韓国語の語学・文化研修プログラムも実施。
■海外演習・研修等	各学部・研究科	各学部・研究科	各学部・研究科で実施している海外演習や研修。医学部の「医学研究インターンシップ(MRI)」や、歯学部の「歯学国際交流演習(ODAPUS)」など。

海外留学のための主な奨学金制度

奨学金名	支給金額	主な応募条件【応募時期】
■岡山大学国際交流基金 (海外派遣学生支援事業)	3・5万円 (地域により異なる)	他の留学奨学金との重複は不可。 【年1回(11月~12月)】
■日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度	6~10万円/月	成績・家計基準の条件を満たす者。 日本国籍もしくは永住権を持つ者。 留学期間が8日以上12カ月以内。 【採択プログラムへの申請時】
■トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム	①奨学金: 6~16万円/月 (地域、家計基準により異なる) ②留学準備金: 15~25万円 (往復渡航費の一部) ③授業料: 30万円/年(上限)	日本国籍もしくは永住権を持つ者。 留学期間が28日以上24カ月以内。 【年2回(前期・後期)】
■地方自治体、民間団体の奨学金		
■外国政府等奨学金		

JASSO「海外留学支援サイト」
参照: <http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

さらに詳しく トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラムとは?

自分で留学計画を組み立てることができるのが、プログラムの大きな特徴。交換留学など単位取得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワークなど学校以外の多様な活動を実施することも可能だ。留学期間は28日~2年間を選べ、返還不要の手厚い奨学金が給付される。大学生向けには5つのコースがあり、全国のユニークな仲間や支援企業と交流できることも魅力の1つ。岡山大学ではこれまで27人が採択され、学生は自ら定めた明確な目標実現のために、留学にチャレンジしている。



トビタテ! 留学 JAPAN 担当教員が語る留学の魅力!

グローバル・パートナーズ 准教授 稲森 岳央

留学では、語学を学べることはもちろん、生きるスキルやチャレンジする姿勢を身につけることができます。トビタテは、実践活動を自分で作り上げることができる点が大きな魅力。こうした経験はその後の人生で大きな力になると思います。

留学したいと思ったら、行くべきです。留学したことを後悔している人に会ったことはありません。留学先として欧米系が人気ですが、アジアなど、どこにいても良い経験になります。岡山大学では教員やグローバル・パートナーズのスタッフも留学を手厚くサポートしています。留学を目指す人を応援する環境を十分に利用して、留学にチャレンジしてみてください。



留学説明会 / 語学研修説明会

グローバル・パートナーズは、交換留学や語学研修・サマー/スプリングスクールの説明会を年複数回実施しています。また、地域(北米・オセアニア・アジア・欧州)ごとの留学説明会や英語能力試験の説明会も随時開催。留学に興味のある学生の支援を充実させています。

留学に関する情報は、一般教育棟B・C棟1階にある留学関連の掲示板、各学部・研究科棟の掲示板に掲載しています。学生G-mail、グローバル・パートナーズのウェブサイトやSNSでも、お知らせしています。

留学・語学研修、奨学金に関する質問やお問い合わせは...

グローバル・パートナーズ事務局留学交流課 スタディ・アプロード部門
TEL: 086-251-7037 ▶ E-mail: ryugaku@adm.okayama-u.ac.jp
(受付時間: 午前8時30分~午後5時)

留学相談室

EPOK 留学経験者が、留学に関する素朴な疑問、留学の準備や帰国後の学習計画、就職活動などの相談を受け付けています。英語の勉強法や、留学先での生活や大学の授業、出願書類の書き方やビザ申請など、留学の先輩に気軽に相談することができます。

相談時間: 月・火・木
場所: 一般教育棟C棟1階 WAWA室

トビタテ! 留学 JAPAN

—その経験が未来の自信。

『トビタテ! 留学 JAPAN』で留学を経験した志岐健太さん、高橋市佳さん、担当教員の稲森岳央グローバル・パートナーズ准教授に留学での経験やその魅力について聞きました。



農学部4年 志岐 健太

タイ・バンコク カセサート大学
2014.8 ~ 2015.6
トビタテ1期生

農学部で森林生態学を専攻。幼少期に裏山の竹林が幹線道路整備でなくなった経験から、「山林や竹林などの価値を高めるにはどうすべきか」と問題意識を持っていた。トビタテでは、東南アジアでの竹の有効活用と熱帯の森林をテーマに熱帯雨林などでフィールドワークを実施。竹や森林がどのように現地住民と共生しているかを調査した。

法学部3年 高橋 市佳

アメリカ・テキサス州
ダラスバプティスト大学
2015.10 ~ 2016.3
トビタテ3期生
(地域コース1期生)

法学部では国際法ゼミに所属。トビタテでは、岡山の公共交通の利便性向上をテーマに、アメリカの輸送や公共交通の実態を調査。実際に公共交通を利用し、アメリカ独自のバスシステムについて知識を深めるとともに現地住民への聞き取り調査を実施するなど、岡山の公共交通への活用の在り方を探った。

◎ 応募のきっかけは?

志岐: 大学の先生に勧められたことがきっかけです。応募の締め切りまであと2週間しかなく焦る気持ちもありましたが、応募書類を作成するにつれて「留学するならば分らない留学計画を立てたい」と気持ちが高まりました。

高橋: 法学部の担当教員から地域コースの募集が始まることを知り、金銭面などの留学支援がしっかりしている点に大きな魅力を感じ、応募を決意しました。

◎ 申請手続きでの大学のサポートは?

志岐: 高橋: 英語でのメールの書き方といった一般的な事項のほか、申請書類の確認や実践活動のアドバイザー、プレゼンテーションの練習などの手厚いサポートはトビタテ採択への大きな力となりました。留学中においても奨学金の申請や報告書作成などの細やかなフォローは

とても心強く、担当の先生やグローバル・パートナーズの先生、職員の方には本当に感謝しています。

◎ 留学中の生活は?

志岐: タイでの食事は辛い味付けの料理が多く、最初はよくお腹を壊していましたが、次第に慣れ、留学中に大好きになりました。日本(文化)の紹介がトビタテ参加者の実践活動の1つでもあったので、寮の留学生仲間とカルタを披露。日本語だったためかあまり興味を持たなかったのですが、けん玉はとても好評で、一緒に遊ぶなど盛り上がりました。

高橋: 大学は座学中心で法学や経済学を学び、休日や長期休暇に公共交通でいるいるな場所に出かけ、トビタテの調査を実施しました。アメリカでの食事は高カロリーで太りやすそうなメニューが多く、メキシコ料理や中華などもあって

おいしかったのですが、やはり日本の味が恋しくなりましたね。日本の紹介としておにぎりを作ったのですが、三角形の形が珍しかったようでとても好評でした。

◎ 留学で身についたこと

志岐: 何事にも挑戦してみようという姿勢です。考え方も大きく変わり、困難と思われることにも怖がらずに飛び込み、誰かに相談するなど、自分の殻を破るような経験ができて良かったと感じています。留学先では日本について聞かれることが多く、聞かれても答えられないこともあり、歴史認識や文化、食事など今まで気にしていなかった日本のさまざまなことを再認識する機会になりました。

高橋: 自分の意思を持って、それを伝える大切さです。日本人は思いまいた表現をしがちですが、留学を通じて自分が思っていることを

明確に表現できるようになりました。現地の人々や他国の留学生らに「日本のことをもっと知ってもらいたい」という思いも膨らみ、日本の宗教や文化について調べ直すことにより自分自身の日本に対する意識が大きく変わったと思います。

◎ 今後の予定は?

志岐: 木材や森林が好きということに加え、英語を使う機会もあると考え、木材の輸入を行う会社に就職します。木の良さを広め、山や

森林が好きになる人が増えれば良いなと思っています。海外駐在のチャンスもあるそうなので、ぜひ挑戦してみたいです。

高橋: 留学を経験することでいろいろな選択肢が広がったと考えています。また海外に行きたいですし、アメリカのビジネススクールでも勉強したいところ。将来はぜひ海外で活躍したいです。

◎ 留学を目指す学生へのメッセージ

志岐: 選択肢はたくさんあります。高橋: 金銭、時間、単位の問題など、留学を戸惑う理由はたくさんあると思います。でも、何かを成し遂げようとする人には、支えてくれる人、助けてくれる人が必ずいます。やりたいと思ったら、ぜひ一歩を踏み出してください。

岡山大学の学修環境

大学生活での“学び”を支える大きな要となるのが、学修環境。本学では、各キャンパスにある3つの図書館と、PCやネットワーク環境の整備などを担当する情報統括センターが核となり、より快適な学修環境づくりを通して研究・教育をサポートしています。

情報統括センター



情報統括センターは、情報基盤の整備・運用などを通じて研究・教育を支えています。学内に教育用PCを約1200台設置。講義だけでなく自主学習にも使うことができます。また、学内に600カ所以上ある無線LANアクセスポイントも便利です。

そのほか、センター内の利用者相談窓口では利用者を幅広くサポート。職員と学生サポーターが、PCトラブルや各種利用申請、相談に対応します。

▶ PCトラブルや各種利用申請、相談に関する質問やお問い合わせは...
情報統括センター内 利用者相談窓口
 TEL: 086 - 251 - 7232
 E-mail: ask@okayama-u.ac.jp
 (受付時間: 午前8時15分~午後7時)
 ※夏季休業期間(8月4日~9月30日)は午後6時まで

大学院自然科学研究科博士前期課程1年
澤井 健太

小さい頃から家でよくPCに触れており、大学ではプログラミングを使った気象の研究をしています。PCについてさらに深く、幅広い知識を身につけることができると思い、今年5月から情報統括センターでアルバイトを始めました。

窓口業務を担当しており、ソフトウェアのインストール方法、利用者からの問い合わせ対応をはじめ、PCやプリンターの利用申請受付などさまざまな業務を行っています。窓口対応では、トラブルが解決して、利用者がほっと笑顔になる瞬間が本当にうれしいですね。ネットワークやPC、タブレット、スマートフォンなど、さまざまな利用者のニーズに対応できるサポーターを目指しています。困ったときはぜひ窓口にご相談ください。

また、岡山大学は学生サービスの向上及びICT推進を目的に、マイクロソフトと包括契約を結んでおり、WordやExcel、PowerPointといった大学生に必須のソフトウェアを無料で提供しています。学内の情報セキュリティ向上のため、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」も用意していますので、トラブル予防のためにも是非活用してください。



▲岡山県産のヒノキを使用した「サルトフロレスタ」



▲区切られた空間で議論に集中できる「グループ学修室」



▲オープンスペースでさまざまな使い方ができる「ラーニングcommons」

中央図書館の施設予約

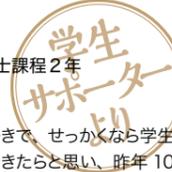
中央図書館では、授業やゼミ、話し合いなどに活用できるスペースを貸し出しています。予約をして、ぜひ活用してください。予約は貸出・返却カウンターで受け付けています。来館が難しい場合は電話での予約も可能です。ご利用について詳しくは図書館HP (<http://www.lib.okayama-u.ac.jp/centrallib/koshitsu.html>) をご覧ください。

階	部屋名	部屋数	人数	予約(○/×)
本館1階	ラーニングcommons	1	~40人	○(授業、イベント利用優先)
本館3階	グループ学修室	9	2~10人(6室) 2~6人(3室)	○
本館3階	セミナー室	3 (3室をあわせて1室利用も可)	A: 5~15人 B: 5~30人 C: 5~30人	○(授業、イベント利用優先)
西館4階	研究個室	8	1人	×
西館4階	第1共同研究室	1	2~10人	○(予約は授業利用のみ可)
西館4階	第2共同研究室	1	5~20人	○(予約は授業利用のみ可)
本館2階	ヒノキエリア	1	~14人	○

※利用時間は開館時間~閉館1時間前です。1回の使用で3時間まで利用できます。

▶施設予約に関する質問やお問い合わせは...

中央図書館フロアサービスグループ
 TEL: 086 - 251 - 7318
 E-mail: fbe7318@adm.okayama-u.ac.jp
 (受付時間: 午前8時30分~午後5時 [平日(授業期)])



大学院社会文化科学研究科修士課程2年
堀田 昌志

元々図書館を利用するのが好きで、せっかくなら学生時代に図書館でアルバイトをできたらと思い、昨年10月から週2回アルバイトをしています。

主な業務は、資料やノートパソコンなどの貸し出し・返却を行うカウンター事務です。自分が普段読んでいないようなさまざまな分野の本に触れる機会が増え、「自分も読んでみよう」と新たな世界が広がることもあります。学部によっては別の大学に所属していたのですが、その図書館と比べて、本学の図書館は蔵書が多く、施設

もきれいで開放的でとても勉強しやすいです。オススメしたいのが、学部4年生以上が利用できる「書庫」。昔の雑誌や幅広い専門書などとても充実していますので、是非一度はのぞいてほしいです。また、知っている便利なものが、「一時持ち出し」の制度。学生証を預けて、その日のうちに返すという条件で、貸し出しが制限されている場合も、館外に持ち出すことができます。

「学びの基盤」ともいえる図書館を有効に活用して、充実した学生ライフを過ごしてください。

附属図書館

附属図書館は中央図書館、鹿田分館、資源植物科学研究所分館から構成され、約209万冊の図書と4万種類の雑誌、さまざまな電子資料や映像音響資料などを所蔵しています。小説などの一般書情報誌、DVDなども充実しています。

個人学修や読書に集中したり、他の学生と意見を交わしながら学びを深めたり、インターネットを使ったりと、多様な学修ニーズに対応するスペースも完備。充実した学修環境を提供しています。

岡山県立図書館の本をインターネットから予約し、受け取りや返却を中央図書館・鹿田分館で行うということも可能です。



キャリア教育から見る 正課外活動の位置づけは？

正課外活動支援、3つの柱！

学生支援課、学生総合支援センターが行っている正課外活動支援には大きく分けて3つの柱があります。

より多くの学生が参加

- 全学ガイダンスを活用した初年次学生の意識づけ、方向づけ
- 校友会の参加を促す大々的なイベント（部活動フェスティバル）
- 校友会以外の学生のための活動母体づくり

安全な活動

- メンタルケア、健康管理、カルト対策などのリスク予防と対応
- 学生支援課による安全管理（施設管理、会計管理、意見対応）
- 大学生協との連携によるリスク対応（個人の学生生活管理）

質の高い活動

- 校友会の組織的な質的向上システムの構築
- 校友会学生に向けた学生企画の研修（環境整備、組織運営、意識改革）
- 校友会と他組織とのボーダレスな連携・交流活動
- 学生の主体性を重視した教職員の専門的支援と卒業生たちによる支援の充実

MEMO：活動支援として

より豊かに、より質を高く 学生が校友会活動へ参加できる 環境と組織づくり

- 校友会全体が質的にポトムアップできる組織（例：校友会総務委員会）や、システム（例：評価基準制度など）の構築と機能化
- 校友会学生に向けた学生企画の研修（環境整備、組織運営・意識改革）の充実と体系化
- 地域に根ざした校友会にするための委員会活動や、地域貢献活動の充実と定着化

▶部や校友会総務委員会に関する 質問やお問い合わせは...

学生支援課正課外活動担当

TEL：086-251-7176

E-mail: dbe7184@adm.okayama-u.ac.jp

（受付時間：午前8時30分～午後5時）

学生支援課より
評価基準制度による活動費の配分など、学生自身でルールを確立させている大学は珍しく、他大学からも注目されています。新たに動き出した地域貢献活動など、今後も総務委員会の活躍に期待しています！

ることから、町内の清掃活動や、自転車マナーの呼びかけなどを積極的に実施しています。今後も、町内会の方々と懇談や、地域の方々からの要望などにも対応できるようにしていきたいです。

学生企画チーム「岡プロ！」

正課外活動は部活動ではありません。中でも注目されるのが、岡山大学をプロデュースし、プロモーションする学生企画チーム「岡プロ！」です。岡山大学の魅力アップに取り組むプロジェクトチームで、学生が主体的に企画、運営しています。学生が社会との連携、協働をつくりだす団体で、教職員が適切にサポートしています。

代表
秦 雄大
法学部3年



そして、最近では、また一つ新しいプロジェクトが立ち上がりました。その名も、「RIP」。岡山大学創設に向けて用地確保に奔走した経済学者で第六高等学校（岡山大学の前身の一つ）の校長だった黒正蔵先生を知ってもらったプロジェクトで、「リメンバー・イウォー・プロジェクト」を略して「RIP」と名付けました。キャリア形成の講義で黒正蔵先生のことを初めて知り、岡山大学の礎を築いた

岡プロ！は、自分たちの目的意識からプロジェクトを作ることが出来ます。「何かしたい！」という学生にはぴったりだと思います。キャリア・学生支援室の中山芳一助教のサポートや、企業との交渉、やりとりなどを通じて、社会人になるために必要な力の養成にもつながっていると感じています。

岡プロ！は、自分たちの目的意識からプロジェクトを作ることが出来ます。「何かしたい！」という学生にはぴったりだと思います。キャリア・学生支援室の中山芳一助教のサポートや、企業との交渉、やりとりなどを通じて、社会人になるために必要な力の養成にもつながっていると感じています。

岡山大学をプロデュースし、プロモーションする学生企画チーム「岡プロ！」には、さまざまなプロジェクトがあります。現在のプロジェクトを挙げると、大学グッズ開発、企業との連携、学生相互の就職支援、地域活性化などジャンルはさまざま。学生の手で岡山大学を盛り上げていく活動をしています。「岡大きびだんご」

MEMO：活動支援として

より多く、より幅広く 学生が正課外活動へ参加できる 環境ときっかけづくり

- 校友会以外の学生のための活動母体づくり（例：学生企画チーム 岡プロ！）
- 学生の自主性を損なうことのない適度で適切な教職員による支援
- 地域や企業と積極的な連携を促し、社会人とのつながりを充実（例：岡大きびだんご、ゆるキャラ「いーちょ」関連グッズの商品化、地域の子ども向けイベントなど）

▶学生企画チーム「岡プロ！」に関する 質問やお問い合わせは...

全学教育・学生支援機構学生総合支援センター

キャリア・学生支援室 中山研究室

TEL：086-251-8562

E-mail: nakay-y@okayama-u.ac.jp

※黒正蔵：第六高等学校の校長だった終戦後まもない1947年、進駐軍が岡山市から撤退した後に同軍の居留地（現在の津島キャンパス）を六高生約250人とともに土地と建物を占拠。六高津島分校として講義を始めたことが、本学の創設につながったとされています。

た黒正先生や1期生の先輩方のことを調べていくうちに、「岡山大学を日本の大学にしたい！」という熱い思いがひしひしと伝わってきました。この思いをたくさんの方たちと共有し、母校愛を深め、岡山大学の価値をさらに高めることができればと思っています。

正課はもちろん、正課外活動もサポート！

正課外活動支援からキャリア支援を!!

岡山大学では、キャリア教育の教育目標として、社会から求められ、社会で自己実現できる力の涵養を掲げています。そのため、正課の講義等はもちろん、正課外活動においてもサポートを続けています。とりわけ、学務部学生支援課や全学教育・学生支援機構学生総合支援センターのキャリア・学生支援室では、岡山大学公認の校友会に対して、各団体（部）単体への支援ではなく、校友会全体に向けた組織的な支援に取り組んでいます。一方で校友会の部に加入していない学生に対する正課外活動のサポートにも力を入れています。今回は、学生たちに、取り組みやサポートを行う教職員との関わりについて伺いました。

◎校友会総務委員会って？

岡山大学の学部生を正会員として、学生によって自主運営されている校友会。校友会は「文化会」「体育会」「医学部分局」「歯学部分局」「法・経済学部夜間主分局」で組織され、ここに所属する部（部活）の加入者数は全学部生の半数にあたる約5000人にもなります。その中で校友会をより良い方向に舵を切っていくために、校友会の代表者をつくるのが「校友会総務委員会」です。全ての部をまとめる役割を担っており、校友会全体の方針決定や、校友会主催行事の立案、運営を行っています。

私たちが運営している文化会・体育会ではあわせて83の部が活動しています。総務委員会は文化会総務委員長と体育会総務委員長を含め、



体育会総務委員長
中岡 強
男子ラククロス部
（環境理工学部3年）

文化会総務委員長
首藤 啓孝
邦楽部（工学部3年）

岡山大学校友会 文化会・体育会総務委員会

部の代表者15人で構成し、校友会組織の中心的役割を担っています。

◎どんな活動をしているの？

文化会・体育会では新入生に向けた校友会の部活紹介や、オープンキャンパスでの催しのとりまとめ、各部の代表者を集めたリーダー研修会開催や学内清掃、大学や地域に貢献するための活動などさまざまな取り組みを進めています。各部が岡山大学の看板を背負って活動している以上、所属の部だけでなく、他の部との横のつながり、大学とのつながり、地域とのつながりを意識しています。

文化会・体育会総務委員会はさらに、評価基準、研修会企画、交流会企画、地域貢献、広報、風紀という6つの委員会に分かれており、各委員会の取り組みたい事柄や問題を総務委員会全体で議論し、幹事総会に諮ります。幹事総会は各部の代表全員が毎月集まる会議で、校友会の重要な決議機能を持っています。

また、これらの活動を進める上で、学生支援課やキャリア・学生支援室の教職員のアドバイスなども受けながら、連携を取り合っています。

◎注目の「評価基準制度」とは？

岡山大学校友会に所属する部では、部室の貸与や活動施設などの優先的な使用が可能です。そして、「校友会会費」として保護者の方々からご寄付いただいた援助金を活動費に充当しています。文化会・体育会の

評価基準制度とは、この活動費の配分ルールについて、学生たち自身が決めた制度のことです。各部は校友会として担うべき役割をきちんと果たしているかが評価されます。

活動費はこれまで、大学への書類提出状況や、校友会の行事への参加の有無に関わらず均等に配分されてきました。これでは大学とのやりとりも煩雑になり、行事への参加率も低下し、積極的な活動にはつながりません。そこで、岡山大学としての看板を背負うに当たる評価制度を導入し、ルールの徹底や、校友会活動などの積極性、地域とのつながりなどを評価した評価基準制度を導入。年度当初に40ポイントが付与され、行事の参加や書類の状況などさまざまな項目でポイントが増減します。年度末になると、当年度の評価ポイントを集計し、翌年度に大学からの予算配分に反映されます。評価基準は総務委員会で決定します。

◎今後の展望は？

文化会・体育会は、学生支援課学生総合支援センターのキャリア・学生支援室との関係をより強化していきます。さらに、地域にも目を向け、地域とのつながりを密にして、地域に愛され、応援されるような校友会にしていきたいです。



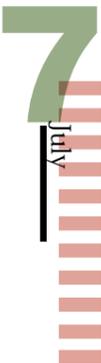
▲各部の代表者が集まったリーダー研修



▲オープンキャンパス来場者に向けた校友会の部活紹介



▲オープンキャンパスで演舞を披露する学生たち



7日 教員研修センターと連携・協力に
関する協定を締結



8日 セネガルの教育関係者が本学で研
修を開始

15日 ダイバーシティ推進本部オフィス
を新設看板除幕式を挙行

「岡大農場出身」千屋牛「岡山市内
の百貨店で販売開始



17日 定例記者発表(6月)を開催

20日 第55回岡大サイエンスカフェを開
催

29日 岡山大学エコナイト2016を開
催

1日 大学院教育学研究科の安藤元紀教
授と大学院医歯薬学総合研究科の
長岡紀幸助教が「ひらめき☆とき
めきサイエンス推進賞」を受賞

4日 惑星物質研究所が「三朝国際イン
ターンプログラム2016」を開催

9日 資源植物科学研究所の馬建鋒教授
がアメリカ植物生物学会の在外終
身会員に選出

17日 脳死・生体肺同時移植「ハイブリッ
ド移植」に成功。昨年4月に岡山大
学病院が初めて成功した手法で、
今回が世界で2例目。



19日 「岡山大学・フエ大学院特別コース」
10周年記念行事を開催。フエ大学
長に名誉博士の
称号授与や、フ
工農林大学長に
よる記念講演等
を実施



21~24日 本学教育学部附属中学校3年
の工藤音花さんが「全日本中学校
陸上競技選手権大会(長野県)に
出場し、女子4種競技で優勝

19日 第56回岡大サイエンスカフェを開
催



11日 国立研究開発法人日本医療研究開
発機構(AIST)の平成28年度「橋
渡し研究加速ネットワークプログ
ラム」において、本学が追加採択
追加支援されることか決定

岡山大学スーパーグローバル大学
創成支援(SG)事業取組状況説明
会を開催

21~24日 本学教育学部附属中学校3年
の工藤音花さんが「全日本中学校
陸上競技選手権大会(長野県)に
出場し、女子4種競技で優勝



26日 株式会社ストライプインターナ
ショナル代表取締役社長を招き、
役員招聘特別講演会を開催

31日 資源植物科学研究所の馬建鋒教授
が三木記念賞を受賞

1日 岡山大学病院に「炎症性腸疾患
(IBD)センター」を岡山県内で初
めて開設

サブサハラ・アフリカ地域の教育関
係者が本学で研修を開始

大学の動き

学生の活躍!

快挙! 競泳ジャパンオープンで2位入賞
水泳部の中尾駿一さん (MP 3年)



競泳のジャパンオープン2016(5月19~22日)で、本
学水泳部の中尾駿一さん(マッチングプログラムコース3
年)が男子50メートル背泳ぎで25秒45をマークし、2位
入賞を果たした。1位のリオデジャネイロ五輪代表選手とは
0秒01差という僅差。自身の持つ岡山県、中国記録を更新
する結果となった中尾さんは「表彰台を狙っていた。力を出
し切り、結果が出て本当にうれしい」と話していた。ジャパ
ンオープン表彰台は岡山大学初の快挙。

ジャパンオープンは東京辰巳国際水泳場で開催され、リ
オ五輪代表選手も勢揃いするなど注目の集まった大会。中
尾さんはこのほか、男子50メートルバタフライ、男子100メー
トル背泳ぎにも出場し、バタフライでも3位に入賞した。

中尾さんは6月27日、森田潔学長、許南浩理事・副学長
(教育担当)を表敬訪問。メダルや表彰状とともに結果や
当日の様子を報告した。

文学部の川上真矢さん(4年)が日本代表
として「2016 MODEL APEC CONFERENCE」
に出席 優秀発表賞を受賞



本学文学部4年の川上真矢さんが、8月25~28日に
中華人民共和国の北京で開催された「2016 MODEL APEC
CONFERENCE」に、日本代表として出席した。

本会議は、APEC教育大臣会合を模して開催。アジア太
平洋地域の学生が、次世代のリーダーとして協力、結束す
ることを目的としており、日本からは3人が選出された。4
日間のプログラムでは、教育課程における能力開発や科学
技術の革新、雇用など実際の大任会合のテーマでディスカ
ッションを行ったり、リーダーシップの向上や女性の活躍など
についてワークショップを行った。

日本代表団は、「第4次産業革命を迎えるにあたっての教育
プラットフォーム構築」というタイトルでプレゼンテーショ
ンを行い、優秀発表賞を受賞。

駐日欧州連合(EU)大使による講演
会「世界における欧州の高等教育」
を開催。講演に先立ち大使は本学
の森田潔学長を表敬したほか、役
員や教員、学生や留学生らと意見
交換



22日 定例記者発表(7月)を開催

27日 ヨット部に新たな救助艇進水式を
挙行

29日 本学法務研究科が九州大学法科大
学院と教育連携協定を締結



異分野基礎科学研究所の沈建仁教
授が第2回日本光生物学協会協
賞を受賞

研究・臨床成果

■大学院医歯薬学総合研究科の片野坂友紀助
教、川崎医科大学らの研究グループが、心不
全の発症・重篤化の過程で「Na⁺/Ca²⁺交換体
(NCX)」の活性が著しく低下していることを
発見。低下したNCX活性を回復させること
で、心不全の進行を抑制できることを、遺伝
子改変マウスを用いた実験により明らかに
した。ヨーロッパ心臓病学会誌「Cardiovascula
r Research」で公開。(6月・臨時記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の西堀正洋教授
和氣秀徳助教らの研究グループは、マウスの敗
血症病態モデルの解析によって、複雑で重篤な
敗血症病態を理解する上で重要な血漿タンパ
ク質「Stybinin-1 glycoprotein (Stg)」を同定
し、Stgが循環血中の好中球と血管内皮細胞
の静電化維持に極めて重要な働きをする因子
であることや、敗血症病態のカスケードが血
中Stgの低下を起点として進行することを世
界で初めて解明した。また、本研究グループは
Stgを薬として補う新しい治療法を検討。敗
血症時にStgが著明に低下したマウスに、Stgの
を注射することで補充することで劇的な生存維持
効果があることを見いだした。Cell誌とLancet
誌が共同サポートする科学誌「EBioMedicine」
電子版に掲載。(6月・定例記者発表)

■岡山大学病院新医療開発センターの田
澤大助教、大学院医歯薬学総合研究科の藤原
俊義教授、尾崎敏文教授らの研究グループは、
腫瘍融解ウイルス「テロメライシン」が、がん
細胞内のマイクロRNA-29を増加させ、細胞
死を抑制するたんぱく質「MCL1」を阻害するこ
とで、骨肉腫に対する抗がん剤治療の効果を増
強させる分子メカニズムを明らかにした。英
国の科学雑誌「Scientific Reports」電子版で公
開。(6月・臨時記者発表)

■資源植物科学研究所の馬建鋒教授と英国の
アバデーン大学らの研究グループは、異なる
イネ系統の種子中の銅の濃度の違いを解析。イ
ネ種子への銅の蓄積に関わる輸送体タンパク質
「OSTMA4」を世界で初めて突き止めた。英国
の科学雑誌「Nature Communications」に掲載。
(7月・臨時記者発表)

■資源植物科学研究所の坂本巨教授らの研究
グループは、植物の成長に不可欠な光合成を
維持して生育を向上させる葉緑体の機能を明
らかにした。VPP1と呼ばれるこのタンパク質
因子が、植物細胞内で光合成を行う葉緑体の
膜を、高温などの環境ストレスから保護する
作用があることを突き止め、植物でVPP1を発
現させることにより生育が改善し、高温によ
る光合成の低下を2割程度軽減できることが
分かった。専門誌「Plant Physiology」と
「Frontiers in Plant Science」に掲載。
(7月・定例記者発表)

■大学院自然科学研究所の大槻高史教授、渡
邊和則助教らの研究グループは、「ケージドア
ミノアシル(MA)」という光応答性の化合物を
開発するとともに、これを用いてタンパク質
合成を光で制御する新技術を開発した。本技
術では、光により、狙ったタイミングで、狙った
位置に、特定のタンパク質の合成を誘導する
ことが可能になる。英国の科学雑誌「Nature
Communications」で公開。
(8月・臨時記者発表)

■大学院環境生命科学研究科の栗原孝次教授
石岡文生准教授、北海道大学、奈良先端科学
技術大学院大学らの共同研究グループは、全
国の都道府県の組合せからなる隣接ブロックを
網羅的に数え上げて索引化することに初めて
成功。都道府県の組合せ隣接ブロックの総数は
1098億5712万5702通りであるこ
とが明らかになった。(8月・臨時記者発表)

岡山大学 Okayama University Super Global Homecoming Day 2016 スーパーグローバル ホームカミングデー

2016.10/22(土)
午前9時10分～

同窓生
在学生・留学生・
教職員・
教職員OBの皆様
一般の方々もご参加
いただけます。



岡山大学津島キャンパス 他

※日時、場所は各企画で異なりますご注意ください。

**スーパーグローバル
ホームカミングデー記念講演会**
……創立五十周年記念館金光ホール
世界的に有名なトゥリムプニ氏による講演会です。本学のグローバル化を体感してみてください。
※英語による講演会になります。
▶時間/11:00～12:00



歓迎式典・Alumni (全学同窓会) 総会

……創立五十周年記念館金光ホール
▶時間/9:30～10:50

岡山大学ミュージックフェスティバル

……創立五十周年記念館金光ホール
岡山大学の音楽系サークル有志による音楽の祭典。学生たちの生演奏をお楽しみください。
▶開場/13:30
▶開演/14:00～17:00



茶道部お茶席……創立五十周年記念館1階交流サロン

茶道部の学生が点てた美味しいお抹茶をご賞味ください。お菓子付きです。
▶時間/11:00～16:30 **先着280名**
創立五十周年記念館1階で整理券を配付します。

創立五十周年記念館周辺

応援団総部演舞
応援団総部の学生が力強い演舞で皆様を歓迎！チャリダー、吹奏楽団も活躍します。
▶時間/9:10頃～9:20頃



うらじゃ演舞と総踊り体験
岡山の夏祭りでもおなじみの「うらじゃ」「笑鬼」「笑輝」の演舞をお楽しみください。総踊り体験では皆様も一緒に踊りましょう！
▶時間/12:00頃～12:30頃

**国際化学実験教室 in 岡山大学
スーパーグローバルホームカミングデー**
▶時間…13:30～15:30
▶場所…創立五十周年記念館2階ラウンジ

思い出茶屋
同窓生の皆さん！この機会に在学生と語り合って交流してみませんか。お茶とお菓子ををご用意してお待ちしています。
▶時間/11:00～16:30
▶場所/情報展示室



岡大の同窓生、在学生、関係者によるお店が

- ▶時間/11:00～16:30
- CA(キャンパス・アジア) 韓国焼菓子、ジュース
 - MACHI FES (焼菓子、ドリンク)
 - Saas- Fee (特製キーマカレー、スイーツ 他)
 - もちもちパンのお店 (調理パン、菓子パン)
 - 大学を通して人を学ぶ会 (あまごの塩焼き、こんにやくバーガー、和小物 他)
 - 新庄ひめのもち「グッドジョブ支援センター」(製品の餅、焼き餅、焼きそば 他)
 - EXCAFE (エスプレッソ、ジュース、焼菓子 他)
 - BESSO COFFEE (コーヒー、焼菓子 他)
 - 岡山フェアトレードの会 (ワッフル、フェアトレードの雑貨、お菓子など 他)
 - 岡プロ! & 岡大学生協 (各種岡大グッズ)
 - L-café 留学生と交流しましょう (外国の食べ物や飲み物)
 - Okadaiファーム・マーケット (岡大農場の農産物) (13:00頃販売終了予定)

1日限定
OPEN!

ウェルカムパーティー 南福利施設 (ビーチユニオン) 3F

同窓生、在学生、教職員、教職員OBの皆様。学部、業種、国籍、年代を超えた交流を楽しみませんか。軽食とお飲み物を用意してお待ちしています。
▶時間/12:30～13:30頃
▶申込期間/10/14まで ▶参加費/2,000円
▶申込先/総務・企画部 総務課
TEL: 086-251-7019 **要・事前申込**
Email: ou-hcd@adm.okayama-u.ac.jp



J-Terrace Autumnal Concerts

岡大OBによる秋をテーマにしたクラシック音楽のバイオリンとオカリナの演奏2組。また、秋摘み紅茶と焼菓子の限定セットを店内で販売します。
▶時間/14:00～17:00
▶場所/Jテラス、Jテラスカフェ



各学部等による企画 ※詳しくは岡山大学スーパーグローバルホームカミングデー2016 ホームページをご覧ください。

法学部 ■講演会「学生歌(昭和28年度)の誕生に關わって」 要・事前申込(当日参加・可) ■懇親会 要・事前申込(当日参加・可)	歯学部 10/16 鹿田キャンパス ■歯学部ホームカミングデー “縦のつながりをもとう” 薬学部 ■薬用植物園の公開と植物解説	環境理工学部 ■環境物質工学科同窓会 ■環境管理工学科 先輩を囲んで ■環境デザイン工学科の同窓生と在学生の交流	地域総合研究センター agora ■ポスターセッション 「矢掛のこどもたちと岡大留学生の交流」 グローバル・パートナーズ ■国際同窓会総会・国際交流懇親会
理学部 ■特別講演会「素粒子で観る宇宙」 ■懇談会 ■理学部同窓会 要・事前申込	工学部 ■工学部の施設・研究室等公開 ■工学部同窓会報告会 ■工学部同窓会懇親会 要・事前申込	附属図書館 ■附属図書館 オープン・ライブラリー!! ～グローバル化を目指すライブラリーを ヴィジュアルに演出する～	※内容は予告なく変更する場合があります。写真はイメージです。

ACCESS
 ▶当日のご来場は公共交通機関をご利用ください。
 ▶津島キャンパスへは、岡山駅西口バスターミナル22番乗り場から岡電バス47系統「岡山理科大学」行きに乗り「岡大西門」で下車。
 ※10/22(土)は、受付(創立五十周年記念館周辺)で詳細なパンフレットをお配りする予定です。

●岡山大学スーパーグローバルホームカミングデー2016 ホームページ
<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/homecoming2016.html>
 ●問い合わせ先
 岡山大学 総務・企画部 総務課 TEL: 086-251-7019
 Email: ou-hcd@adm.okayama-u.ac.jp
 〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

